

HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

第97期 中間 株主通信

2020年4月1日から2020年9月30日まで



株式会社 ヒラノテクシード



「Wet & Dryのコーティング装置」で 世界トップクラスの企業として、 企業価値の一層の向上をめざします。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、第97期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2020年12月

取締役社長 岡田 豊

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、外出自粛及び休業要請等がなされ、社会・経済活動が急速に停滞し極めて厳しい状況となり景況感は急速かつ大幅に悪化しました。また、日本政府による緊急事態宣言解除後においては、経済活動は段階的に再開され、個人消費が徐々に持ち直しを見せたものの、インバウンドの減少や雇用環境の悪化により、景気の先行き不透明感が払拭できるには至らない状況で推移いたしました。

世界経済も同感染症が特定の国や地域で再拡大している状況にある事に加え、米中貿易摩擦の長期化及び地政学的リスク等もあり、世界経済の先行き不透明感から企業の投資マインドが縮小し、依然として製造業の設備投資は低調な環境で推移しております。

当社グループにおきましては、昨年に引き続き「時流に乗って躍進」をスローガンに、新年度をスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動が制限されるなか、感染防止対策を徹底した生産体制を確保してまいりましたが、売上高は低調に推移いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は8,952百万円(前年同期比43.5%減)となり、利益面では営業利益は660百万円(前年同期比76.4%減)、経常利益は716百万円(前年同期比74.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は471百万円(前年同期比75.4%減)となりました。

また、受注につきましては、厳しい市場環境ではありますが、電気自動車関連市場及び電子部材関連市場を中心として積極的な受注活動の継続に努めた結果、堅調に推移いたしました。

今後の見通しにつきましては、国内は新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立をめざし、政府は様々な対策を実施し、企業も正常化に向け活動を徐々に再開しております。しかし、失業や所得減における国内消費活動の縮小が本格的に回復するまでには時間を要すると思われれます。

また、世界経済においては、欧米での雇用環境は改善傾向にあると思われれますが、特定の国や地域での同感染症の再拡大の懸念もあり、企業の設備投資意欲も低迷しております。

中国では景気の下支え政策により底入れが期待できますが、米中貿易摩擦の影響もあり、先行き不透明感が払拭できない状況にあります。

このような厳しい環境下ではあるものの、注力分野であるエネルギー分野や電気電子部材関連の投資を中心に積極的に営業展開するとともに顧客満足度の向上、新技術開発、新市場開拓に取り組んでまいります。

現段階での、通期の連結売上高は23,000百万円、連結経常利益は2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,420百万円を見込んでおります。

売上高 (百万円)



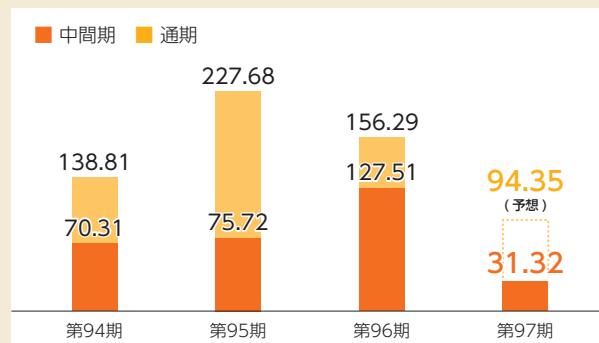
経常利益 (百万円)



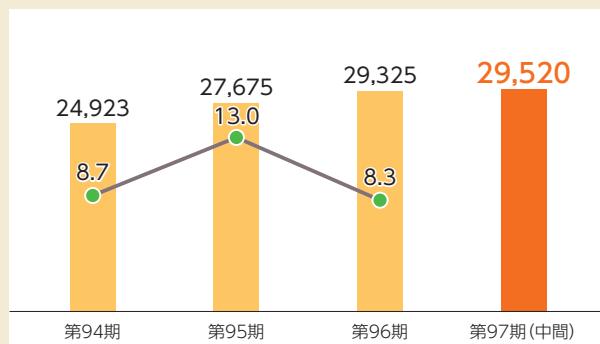
親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益 (百万円)



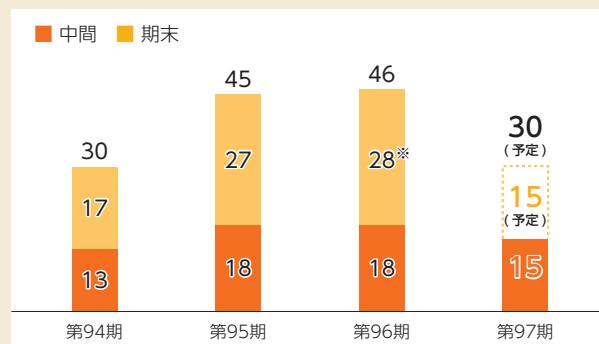
1株当たり中間 (当期) 純利益 (百万円)



自己資本 (百万円) / ROE -●- (%)



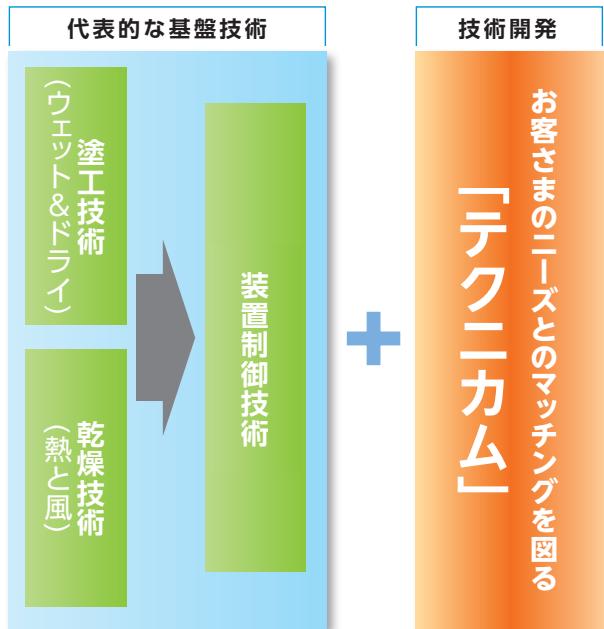
1株当たり配当金 (円)



※普通配当18円に木津川工場竣工記念配当10円を含んでおります。

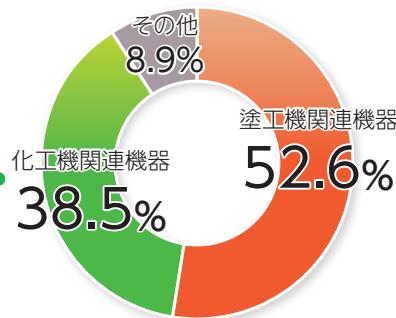
セグメント別状況

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしております。



各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置

塗工機
関連機器



化工機
関連機器

各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



■ 受注高 (百万円)



■ 受注残高 (百万円)



*客先の投資計画の凍結に伴い、1,460百万円を減額しております。

Pickup



B.LEAGUE



Bambitious Nara



SILVER
PARTNER



ACADEMY
PARTNER



バンビシャス奈良 オフィシャルパートナー

公益財団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(Bリーグ)所属のバンビシャス奈良のシルバーパートナーとして、奈良県を中心とする地域社会の発展に貢献する活動を応援しています。

また、アカデミーパートナーとしてユースチームを通じて、奈良県の若い年代を育成する活動をサポートしています。

バンビシャス奈良
チームキャラクター「シカッチェ」

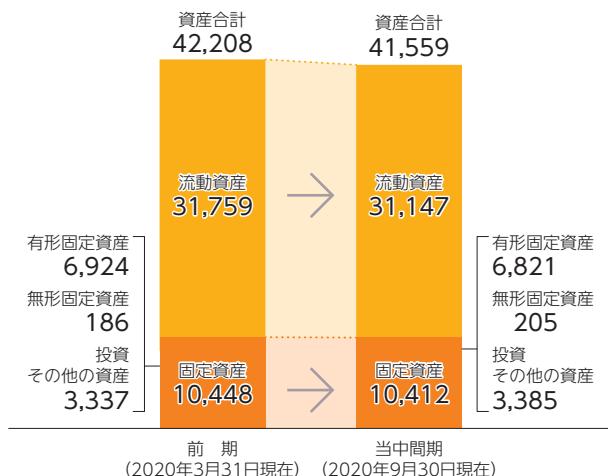


**バンビシャス奈良を
応援しています。**

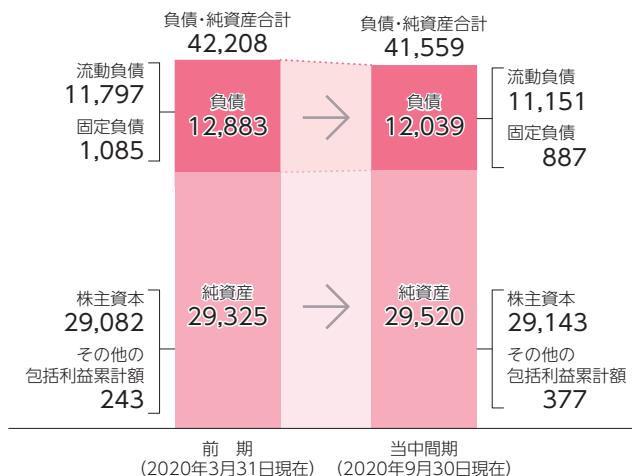
中間連結財務諸表

資産の状況 (百万円)

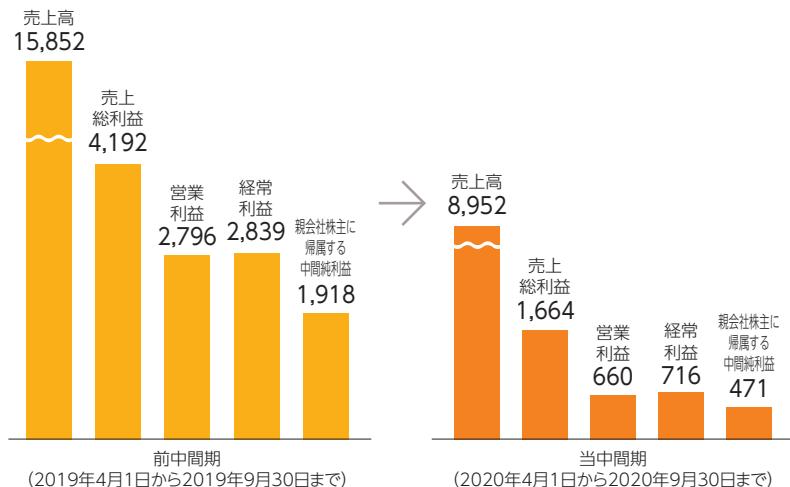
資産の部



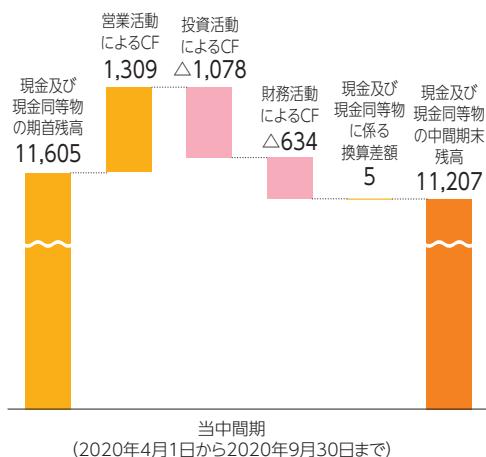
負債・純資産の部



損益の状況 (百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (百万円)



配当のお知らせ

第97期中間配当金につきましては、1株当たり普通配当15円とさせていただきます。

■ 会社の概要

社名	 株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	1935年6月1日
設立	1949年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	282名
事業所	<p>本社 〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681</p> <p>木津川工場 〒619-0215 京都府木津川市梅美台8丁目1番24 電話 (0774) 46-8715</p> <p>東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目16番地 (ヒューリック神田ビル3F) 電話 (03) 5289-8834</p>

■ 役員

取締役社長 (代表取締役)	岡田 薫
常務取締役	安居 宗則
取締役	金子 二雄
取締役	岡田 富美一
取締役	原 昌史
取締役	大森 克洋
取締役 (常勤監査等委員)	田澤 憲二
社外取締役 (監査等委員)	高谷 和光
社外取締役 (監査等委員)	辻 淳子

■ 子会社

ヒラノ技研工業株式会社	(産業用機械器具製造)
株式会社ヒラノK&E	(真空装置等製造及び 繊維機械等部品製造)

■ 株式の状況

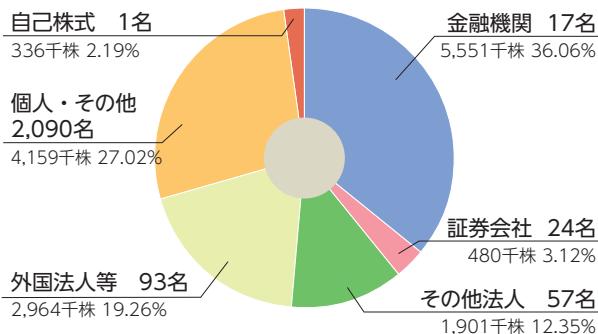
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	2,282名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.63
ヒラノ会	1,356	9.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	980	6.51
伊藤忠商事株式会社	850	5.64
株式会社三菱UFJ銀行	737	4.89
株式会社りそな銀行	731	4.85
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	476	3.16
立花証券株式会社	426	2.83
BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED (LONDON BRANCH) /SMTTIL/ JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC	333	2.21
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	314	2.09

(注)1. 上記のほか、自己株式336,680株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	6245
公告掲載方法	電子公告 (https://www.hirano-tec.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、大阪市 において発行する日本経済新聞に掲載を行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテクシード ホームページ



<https://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
ぜひご利用ください。